

市町村名	南大東村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	南大東村遺体安置設備整備事業			沖繩21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉 における住民サービスの向上		
担当部課名	福祉民生課		事業実施 年度	平成 29	~ 平成 29	年度 沖繩振興基本方針 該当箇所	III-9
事業内容	村内においての不慮の事故や孤独死など、死亡の原因が特定できない場合の検視の為、遺体を一時安置する必要がある。また遺体の保存のためには保冷库を利用して、腐敗を防止する必要があることから、保冷库及び遺体安置所を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	総事業費	
	A. 予算現額	8,150				8,150	
	B. 執行済額	8,100				8,100	
	うち 交付金充当額	6,480				6,480	
	執行率(%) (B/A)	99.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.4%	
執行状況の説明	最終予算額は8,150千円、執行額は8,100千円で最終的な執行率は99.4%となり、概ね計画どおり執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	遺体保冷库及びコンテナの整備	目標	整備実施				
		実績	整備実施				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	遺体保冷库及びコンテナの整備完了	目標	整備完了				
		実績	整備完了				
	一定期間安置が必要な遺体の発生時における活用率	目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	H30年度 目標/発現年度
	一定期間安置が必要な遺体の発生時における活用率	目標	100.0%				
		実績	0.0%				
		目標					
実績							
状況説明	<p>【H30年度】 ・平成30年度は、事故死、変死、孤独死等の発生が無く、一度も稼働しなかったため実績としては0%となった。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】 ・平成30年度は、事故死、変死、孤独死等の発生は無く、活用率は0%であったが、発生した場合に備え、概ね2、3ヶ月に1度の割合で保守点検を行った。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【H30年度】 ・事故死、変死、孤独死等の発生した場合に備え、いつでも稼働が可能な状態を保つため、保守点検を定期的に行う必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】 ・今後は景観配慮した施設としての環境整備を図るべく、樹種の選定を行った上で植樹等の取組を検討していく。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>							

市町村名	南大東村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	南大東村移動式大型クレーン車整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ 農林水産業の振興	
担当部課名	産業課		事業実施 年度	平成 29	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9
事業内容	南大東村では船を陸地より吊り上げ下げをして漁に出ているため、海上気象条件の急変に対応できる機動力のある大型クレーン車の導入を行い、漁家の発展と今後の水産振興を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	総事業費	
	A. 予算現額	73,764				73,764	
	B. 執行済額	73,764				73,764	
	うち 交付対象事業費	73,764				73,764	
	うち 交付金充当額	59,011				59,011	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	・執行率は、100%で計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	大型クレーン車の導入	目標	導入				
		実績	導入				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	大型クレーン車の導入完了	目標	導入完了				
		実績	導入完了				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度 目標/発現年度
	・大型クレーン導入の完了後、漁業者の平均漁獲量(H30～R4の5カ年平均漁獲量 100t)		目標	100t/年	100t/年	100t/年	100t/年
			実績	120t/年			
			目標				
		実績					
状況説明	<p>【H30年度】 ・大型クレーンの導入に伴い稼働率が向上したことから漁師の出港回数の増加により、漁獲量の増加につながることで、海上気象条件に左右されない漁家の安定収入に寄与している。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】 ・操作資格を取得しているオペレーターが概ね対応可能な状況にあり、出漁回数も増えたことからH30年度～R4年度にかけて漁獲量100t/年を目標としており、H30年度は速報で、120t/年と一部達成できている。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【H30年度】 ・大型クレーンを利用して出漁する必要がある場合において、その操作を行えるオペレーターが常時対応可能な状態とすることで、出漁機会の増加を図っていく。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】 ・大型クレーンの操作資格を持つオペレーターの確保を図ると共に、島内の漁業者が出漁を希望する場合において、速やかにオペレーターと連絡をとれる体制を今後も維持していく。又、オペレーターの負担軽減を図るため、更に資格取得者の増加を図るよう検討していく。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>							

市町村名	南大東村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	南大東村多目的交流拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 離島における定住条件の整備		
担当部課名	教育委員会	事業実施 年度	平成 25	~	平成 28	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9
事業内容	<p>村民交流、伝統文化継承や人材育成、農漁村を中心とした各種研修をはじめ、観光客との交流を図ると共に、災害時には、村民及び観光客の避難施設として活用するため、村の多目的拠点施設を整備する。</p> <p>平成25年度は基本設計及び実施設計。平成26年度は既存施設の解体及び整地。平成27年度は監理委託業務及び基礎工事。平成28年度は監理委託業務及び建築工事。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	総事業費	
	A. 予算現額	27,000	168,314	547,434	109,358	852,106	
	B. 執行済額	26,483	168,239	546,989	104,481	846,192	
	うち 交付金充当額	21,186	134,591	437,590	82,047	675,414	
	執行率(%) (B/A)	98.1%	100.0%	99.9%	95.5%	99.3%	
執行状況の説明	<p>・H25年度は建設検討委員会において施設内用途別配置、規模等の調整等に日数を要したため、実施設計にかかる費用の一部を26年度へ繰越した。</p> <p>・既存施設解体に伴う備品・設備等の再利用品の撤去排出及びPCB、アスベストの処理に不足の日数を要し、基礎工事費、管理委託費の一部を27年度へ繰越した。</p> <p>・H27年度は建築業者が全国的に職人不足により島内外からの職人確保に不足の日数を要し、年度内の完了が困難となり工事費の一部を28年度へ繰越した。</p> <p>・平成28年度は外構整備工事において、アスファルト専門業者の職人確保に不足の日数を要し、年度内の完了が困難となり工事費の一部を29年度へ繰越した。</p> <p>・上記理由等により各年度繰越を含め5年の歳月を要したが最終的には99.3%で執行できた。</p>						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	基本設計・実施設計実施	目標	基本設計・実施設計の実施	基本設計・実施設計の実施			
		実績	基本設計・実施設計の実施	基本設計・実施設計の実施			
	既存施設取壊解体・基礎工事実施	目標		既存施設取壊解体・基礎工事実施	既存施設取壊解体・基礎工事実施		
		実績		既存施設取壊解体・基礎工事実施	既存施設取壊解体・基礎工事実施		
監理委託業務・建築工事実施・備品購入	目標			建築工事実施	建築工事実施・備品購入		
	実績			建築工事実施	建築工事実施・備品購入		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	基本設計・実施設計	目標	基本設計・実施設計の実施	基本設計・実施設計の実施			
		実績	基本設計・実施設計の実施	基本設計・実施設計の実施			
	既存施設取壊解体・基礎工事実施	目標		既存施設取壊解体・基礎工事実施	既存施設取壊解体・基礎工事実施		
		実績		既存施設取壊解体・基礎工事実施	既存施設取壊解体・基礎工事実施		
監理委託業務・建築工事実施・備品購入	目標			建築工事実施	建築工事実施・備品購入		
	実績			建築工事実施	建築工事実施・備品購入		

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	H30年度 目標/発現年度
	多目的交流拠点施設の供用開始		目標	供用開始 施設利用回数200回			
			実績	供用開始 施設利用回数398回			
			目標				
		実績					
状況説明		<p>【H30年度】</p> <p>・平成25年度より着手し、各年度検討委員会の調整、処理、業者職人の確保等で繰越となったものの、施設を完成させることができ、平成30年2月に供用開始を行った。又、平成30年度の目標であった年間施設利用回数(200回)を398回と大幅に上回る事ができ、達成状況は順調である。</p> <p>【 年度】</p> <p>・</p> <p>【 年度】</p> <p>・</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】</p> <p>・多目的拠点交流施設の年間利用回数は398回となり、目標の200回を大幅に上回っていることについては、住民が施設についての認知度の高さや又、各イベント等において、設備の充実に伴う利用しやすい環境であることが要因と思われる。</p> <p>【 年度】</p> <p>・</p> <p>【 年度】</p> <p>・</p>			<p>【H30年度】</p> <p>・多目的拠点交流施設の利用回数目標は引き続き毎年、年間200回を設定し達成できるよう更なる施設の充実を図るための魅力発信と又、災害時における避難施設としての周知と充実も図っていきたい。</p> <p>【 年度】</p> <p>・</p> <p>【 年度】</p> <p>・</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】</p> <p>・今後も施設の利用にあたっては、年間をとし事業目的に沿った有効活用ができるよう、各種イベントや行事、集会等の利用を島内の各団体に促していきたい。</p> <p>【 年度】</p> <p>・</p> <p>【 年度】</p> <p>・</p>							

市町村名	南大東村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	屋根付相撲場整備文化継承事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-工 離島を支える多様な人材の育成	
担当部課名	教育委員会	事業実施 年度	平成 27	~	平成 28	年度 III-9	
事業内容	南大東島は歴史的に八丈島出身者による開拓がなされてきたことから、江戸相撲と沖縄角力の奉納相撲が実施されてきた。このような伝統を継承していくとともに、その担い手となる人材の育成に向けて、雨天時でも練習や試合場として常時使用できる屋根付相撲場を整備し伝統文化継承を図ることにより南大東村の振興を推進する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	総事業費	
	A. 予算現額	5,400	118,271			123,671	
	B. 執行済額	5,400	112,747			118,147	
	うち 交付金充当額	4,320	90,197			94,517	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	95.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	95.5%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年度は基本設計及び実施設計を実施し計画どおりに執行できた。 ・H28年度は、入札不調に伴い設計の見直しを行なったことから工事着手が遅れてしまった。更に島外からの職人確保に不足の日数を要したため、年度内の完了が困難になりH29年度へ繰越した。 ・最終的な執行率は95.5%となり概ね計画どおりに執行できた。 						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	〇年度
	委託設計実施	目標	委託設計実施				
		実績	委託設計実施				
	建築工事実施	目標		工事実施			
		実績		工事実施			
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	委託設計を実施し建設整備の条件を整える。	目標	建設整備の条件を整理				
		実績	建設整備の条件を整理				
	屋根付相撲場建築工事完了	目標		工事完了			
		実績		工事完了			
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	H30年度 目標/発現年度
	屋根付相撲場整備完了後の年間練習利用日数。		目標	120日/年			
			実績	128日/年			
			目標				
		実績					
状況説明	<p>【H30年度】 ・屋根付相撲場施設の年間利用数は128日/年と目標の120日/年を上回っており達成状況は順調である。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】 ・屋根付相撲場施設の年間利用数が目標を上回って達成できたことについては、屋根が設置されて雨天時でも練習ができることに加え、トイレや更衣室も完備され充実が図れていることが要因と思われる。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【H30年度】 ・江戸相撲と沖縄角力の双方を受け継ぐ大東島の文化を継承し、担い手となる人材育成を図るために、練習のモチベーションを高めると言う観点からも、定期的な大会の開催や文化交流等の実施が有用と考えられる。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】 ・今後は、練習場や試合場として活発な施設利用を実施するため、相撲大会など南大東村の伝統文化の継承に向けて取組を行う。 又、施設の管理面から適宜適切に利用できるようにしていくとともに、伝統文化の継承及び他地域との交流による相撲大会等の誘致・定期開催に取り組んでいく。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>							

市町村名	南大東村							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	南大東村環境保全・景観保全推進事業			沖繩21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉 における住民サービスの向上			
担当部課名	福祉民生課		事業実施 年度	平成 28	~ 平成 28	年度	沖繩振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9
事業内容	農業用資材等の放置をなくし、南大東村の環境、景観保全を保つため、最終処分場施設に小型高速燃料焼却炉を設置し整備する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	総事業費		
	A. 予算現額	29,368				29,368		
	B. 執行済額	29,365				29,365		
	うち 交付金充当額	23,492				23,492		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%		
執行状況の説明	<p>・当初の計画では事業一括発注を予定していたが、導入予定の小型高速燃料焼却炉に受注生産(オプション)に日数を要し、補正予算にて工事費と備品等に分けて発注。工期内3月末までの導入がどうしても厳しい状況が発生したため翌年度へ繰越した。</p> <p>・最終的な執行率はほぼ100%となり、概ね計画的に執行できた。</p>							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況						
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R1年度		
	小型高速燃料焼却炉の設置及び建屋工事	目標	小型高速燃料焼却炉の設置及び建屋工事					
		実績	小型高速燃料焼却炉の設置及び建屋工事					
		目標						
		実績						
	目標							
	実績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況						
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R1年度		
	小型高速燃料焼却炉の設置及び建屋工事完了	目標	設置完了					
		実績	設置完了					
		目標						
		実績						
	目標							
	実績							

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	H30年度 目標/発現年度
	【H30年度】 年間利用日数	目標	150日/年				
		実績	154日/年				
		目標					
実績							
状況説明	【H30年度】 ・小型高速燃料償却の利用日数は年間154日と目標を上回っており達成状況は順調である。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【H30年度】 ・小型高速燃料償却を設置したことにより島内の事業所及び、農家から出る農業用廃プラスチックについて安定して島内で処理できるようになり、環境、景観保全が図られている。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【H30年度】 ・引き続き農業用廃プラスチック等の産業廃棄物について、適正回収及び炉の管理を行い、環境・景観の保全に努めていく。 ・排水による土壌汚染の懸念に対応できるよう、監視体制を構築することで、万一汚染が生じた場合に迅速に対応できるようにしていく。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【H30年度】 ・焼却炉のメンテナンスを徹底し、処理可能な農業用廃プラ等の産業廃棄物について円滑な回収及び焼却処分に努める。 ・浄化槽における排水処理の管理として、浄化槽内の水のサンプルについて定期的に水質検査を実施するとともに、日々の浄化槽に設置されたセンサーの目視確認等をおして、土壌汚染等の有無について監視し、適切な運営を行える体制を構築していく 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							

市町村名	南大東村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	安心安全強化対策偉業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
担当部課名	福祉民生課	事業実施 年度	平成 25	~ 平成 28	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10
事業内容	自然災害発生時期における住民や観光客の避難場所とする為、ゲートボール場として使われているスパーク南大東(屋内ゲートぼる場)の機能強化を図った。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額 ・執行額 【単位:千円】		H25年度	H28年度			総事業費	
	A. 予算現額	6,825	216,585			223,410	
	B. 執行済額	6,825	216,584			223,409	
	うち 交付金充当額	5,460	173,266			178,726	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年2月10日建築確認申請業務(委託料)に不足が生じ、予備費から81千円を流用した。 H28年度は補修・補強工事の確認申請及び島外から職人の確保に不足の日数を要した為、工事の発注が遅れ、翌年度へ繰越した。 最終的な執行率はほぼ100%で執行できた。 						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	・屋内ゲートボール場施設、(スパーク南大東)の耐震強化事業の実施設計	目標	設計一式				
		実績	設計一式				
	・屋内ゲートボール場施設、(スパーク南大東)の機能強化(補修・強化)工事	目標				機能強化(補修・補強)工事	
		実績				機能強化(補修・補強)工事	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	・屋内ゲートボール場施設、(スパーク南大東)の耐震強化事業の実施設計	目標	設計一式				
		実績	設計一式				
	・屋内ゲートボール場施設、(スパーク南大東)の機能強化(補修・強化)工事の完了	目標				機能強化(補修・補強)工事の完了	
		実績				機能強化(補修・補強)工事の完了	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	H30年度 目標/発現年度
	屋内ゲートボール施設(スパーク南大東)の機能強化(補修・補強)工事の完了	目標	機能強化(補修・補強)工事の完了				
		実績	機能強化(補修・補強)工事の完了				
	【H30年度】 避難訓練の際に避難場所として認知できた人の割合	目標	80%				
実績		100%					
状況説明	<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内ゲートボール施設の機能強化工事を完了したことにより、経年劣化による屋根等の取り替え、鉄骨等の設置を行った結果、鳥類の進入、風雨の流入を防止することができ、安全な施設運用が図れている。 又、平成30年10月に開催された防災気象講演会(参加者60名)及び、11月に開催された沖縄県広域地震津波避難訓練(参加者70名)に参加した住民を対象に屋内ゲートボール場も避難施設であることを認知しているか、聞き取り確認を行ったところ、全員が認知していたので達成状況は順調であると思われる。 <p>【 年度】</p> <p>・</p> <p>【 年度】</p> <p>・</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本施設の機能強化工事を完了したことにより、ゲートボールや、グラウンドゴルフ等を従来どおり行うことができ、高齢者を中心に安全と安心が図れている。 又、防災関連の講演会及び避難訓練の際に参加した住民全員が本施設が避難場所であるという認知ができていくことに関しては、行政懇談会や各字集会以て周知されていることが主な要因と思われる。 <p>【 年度】</p> <p>・</p> <p>【 年度】</p> <p>・</p>			<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本施設の通常時の利用促進としてイベントの開催や情報発信の強化を行うことで、更なる利用者数の増加に繋がると思われる。 又、防災時や避難訓練の際の避難場所として、全島民及び観光客等の島外からの来島者も含め更に広く認知できるよう、掲示板等の設置や広報活動の実施が必要と考える。 <p>【 年度】</p> <p>・</p> <p>【 年度】</p> <p>・</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常時における利用促進としては、ゲートボール、グラウンドゴルフ大会など、イベントの開催を定期的実施していくことで健康づくりや交流の役割を果たせるよう取り組んでいきたい。 ・防災関連の村広報業務や資料等の中で本施設が災害時の避難所となっていることを周知するとともに、日常の利用等をおして住民や観光客が本施設が災害時の避難場所であることが認識できるように掲示板等の設置を検討する。 <p>【 年度】</p> <p>・</p> <p>【 年度】</p> <p>・</p>							